

大阪大学図書館報

Vol.32 No.2 Sept. 1998 (平成10年) 通巻130号

目次

- バークレー滞在記
- 中国語図書の検索について
- 教官著作寄贈図書
- お知らせ
 - ・遡及入力の実況 (本館開架図書入力終了)
 - ・電子ジャーナルのタイトルが増えています
 - ・WWW版図書館報総目次 Vol. 1 ~ を公開
 - ・基礎工学部図書室で土曜日のサービス拡大
- 会議・日誌

バークレー滞在記

大西 直樹

平成9年度の文部省在外研究員として、本年3月2日より5月30日までの間、カリフォルニア大学バークレー校 (University of California at Berkeley。以下、UCB) に滞在し、電子図書館機能の運用に関する状況及び諸問題を中心に調査してきました。

ここでは、UCBの図書館についてご紹介すると共に、様々な調査を行う中で意識させられた我が国の大学図書館との違いや滞在中の経験から感じたことなどをいくつか申し述べたいと思います。

なお、全ての記述は私のごく限られた知識・経験に基くものです。

1. University of California at Berkeley

空港行のJR特急が先行列車の人身事故のため途中の線路上で停止、復旧見込不明で一時は出発便に間に合うか心配させられるという不吉な旅立ちとなりましたが、その後は大過なくバークレーに到着、3ヶ月のUCB滞在が始まりました。

UCBが属するカリフォルニア大学 (以下、UC) は9つのキャンパスからなる州立大学です。「キャンパス」といっても、本学の「吹田キャンパス」などという場合のような大学内が単に地理的に分割されたものという意味ではなく、個々に独立した大学といえるものです。各

キャンパスには学長（Chancellor、UC全体の学長は President）がおり、キャンパス運営の重要事項も独立して決定しているようです。また、全米の統計やランキングなどにおいて、UCは通常キャンパスごとに別に扱われています。

カリフォルニア州には、他にカリフォルニア州立大学（California State University）やコミュニティカレッジなどの公的高等教育機関があります。その中で、UCは高度な研究を行う機関と明確に位置付けられています。1つの文部省で100近い全国の国立大学を扱うのに比べて、州内で唯一の高度研究機関とされているUCは、予算獲得などにおいて日本の各大学よりも相対的に発言力が大きいのではないのでしょうか。

UCBは、UCの最初の本格的キャンパスであり、UCの中でも最高の研究水準を誇っています。

2. UCBの図書館システム

蔵書860万冊、受入雑誌8万タイトル以上、マイクロ資料500万点という大規模な図書館システムです。中心は研究図書館である Doe Library、学習図書館である Moffitt Library、マニュスクリプトや稀覯書を収蔵する Bancroft Library で、その他に24の分館（branch libraries）と13の部局図書館（affiliated libraries）があります。中心の3図書館と分館はいわゆる “The library” を構成し、キャンパスの図書館長に属します。部局図書館は、その部局長に属します。いずれの図書館にも専門職の図書館員が配置されています。また、UC全体の共用施設として、使用頻度の低い資料を集散的に保存するための Regional Library Facility が州北部と南部に1つずつ設けられています。

図書館職員は、専門職が191名、非専門職が251名の計442名で、加えて学生アシスタント

が178名います。（Association of Research Librariesの1997年の統計。資料によっては数字が異なる。）

図書館資料は、いずれかの図書館に配置しません。日本の大学と異なり、研究室などに恒常的に配置することは、原則として無いとのことでした。従って、大学における図書館の重要性は、日本の大学においてよりも高くなります。（部局などで非公式に図書室を設けて、資料を備えているところもあるようです。）

1991年以来、Doe及びMoffitt図書館の建物について大規模な地震対策補強工事が行われており、その一環として最近巨大な地下書庫（利用者入庫可）が完成しました。（地上は元のように芝生の広場になっていました。）



Doe (Main) Library とUCBのシンボル Sather Tower

3. 図書館員

これは以前から指摘されていることですが、図書館員の立場や役割が我が国の国立大学図書館の職員のそれと大きく異なっていることを改めて認識させられました。

UCBでは（というよりも米国の大学図書館では通常）、図書館員は librarian と称される専門職の図書館員と support staff などと称される非専門職員に明確に区別されます。

librarian は、少なくとも図書館情報学関係の修士の学位を取得しており、大学内で教官もしくはそれに準じる待遇を与えられます。この

待遇 (faculty status、academic status などと呼ばれます。) の具体的内容は大学によって異なるようですが、いずれにせよ professional として処遇されています。因みに筆者が訪問した reference librarian は皆個室を持っていました。

librarian のポストが空席になった場合、図書館で任意に人事異動して補充するのではなく、公募し、応募者を審査して採用します。換言すれば、採用は原則としてポストへの採用であって、日本の大学図書館員のように数年ごとに異なる業務に移るといったことはありません。

librarian は当然、図書館業務の中で専門的能力を要するものを担当します。以前は目録作成が主要な専門業務の一つでしたが、最近では電算化によりコピーカタロギングが主流になったため、目録作成の librarian は激減したそうです。現在でも重要な専門業務が reference です。reference librarian は主題ごとにより、相当の人数になります。(Subject specialist は、個人名がメールアドレスと共に WWW で公開されています。)

4. 情報公開

アメリカでは日本より情報公開が進んでいるとよく言われます。クリントン大統領の不倫もみ消し疑惑に関する報告をインターネットで公開してしまうところなど、戦略的思惑があるとしても、情報公開が当然という一般的認識があればこそ実現するのでしょうか。今回、UCB に関して様々なことを調査する過程で、インターネット上だけでも実に多くの情報が公開されていることに驚かされました。例えば、Library Administration Budget & Program Planning というページがあり、その中の Strategic Planning には、"The UC Berkeley Library in the 1990s: A Progress Report" や "Status Report on \$250,000 FY 1997 Digital Library Allocation"、

"Report of the Task Force on Library Services to Undergraduates" など 10 件が含まれるという具合で、単に図書館サービスにとどまらず、予算や政策に関しても情報が公開されています。(ただし、UCB は州立ということもあって公開する情報量が特に多いのかもしれない。)

また、職員間の連絡に電子メールを使うのは当然のことで、そこには様々なレベルのメッセージが実際に送られています。私が頂いた UCB 図書館でのメールアドレスにも色々なメールが送られてきました。図書館で毎週発行する図書館職員用新聞もメールで送られてきて、図書館に関するニュースなどを簡単に知ることができます。

5. バークレー

UCB があるバークレーは、湾を隔ててサンフランシスコの対岸にある人口約 10 万人のこじんまりとした市で、サンフランシスコから地下鉄で 20 分程度の距離です。滞在期間中、バークレー市内に家を借りて住んでいました。大学からは徒歩で 20 分位のところで、閑静な緑の多い住宅地です。

多民族国アメリカの中でもカリフォルニアは移民が多いようで、様々な民族の人がいました。バークレーは大学関係者が多いこともあって、日本人も多く見られます。ただ、若い人では外見は日本人でも話しているのは流暢な英語ということが多く、これは日系米国人なのでしょう。食品店にも様々な国の食品が置いてあります。野菜類の種類も多く、茄子でも単なる eggplant の他に、Japanese、Chinese、Italian の eggplant があり (それぞれ形が違う)、大根は Daikon、サツマイモは Satsuma として売っていました。

短い滞在期間中に、近所の建物の用途変更などについての説明会の案内が 3 回もポストに入りました。現地の方に伺うと、バークレーでは

たとえ自分の敷地内であっても建物を建てたりする場合、近所に説明して了解を得る必要があるとのこと。案内が届いた説明会の一つは、近くのスーパーマーケットの移転後にある企業が別の施設を作ることに關するものでしたが、結局住民の合意が得られずに計画を撤回したようです。

確かに日本とは違って、道端には広告や大仰な看板は見当たりません。住環境の維持に関して意識が高いと感心していたのですが、ある現地の方によれば、住宅地に付近と調和しないようなものを作ることによってその資産価値が下がってしまうことも問題なのだそうです。この説の当否は計り兼ねますが、先の情報公開についても、逆に情報を公開しなかったために不利益を受けた人から訴えられる危険性を回避する意味もいくらかはあるのかもしれません。

ごく限られた経験からの判断ですが、自由の国といわれる米国では、お互いの自由を守るために、一面では日本よりはるかに厳しく他者の権利を尊重し合っているように思われました。違法な路上駐車はすぐにレッカー車で移動されるそうですし、幹線以外では信号が無い交差点では必ずといっていいほど車が止まって歩行者を先に渡らせます。喫煙は広範囲で禁止されて

います。多種多様な文化的背景を持つ人々が混在する社会では、有形・無形のルールを決めて厳密に適用することが必要なかもしれません。

図書館サービスにおいても、利用者のサービスを受ける権利はできるだけ尊重する姿勢があるように思われます。利用者がどのようなサービスを受けられるかについて、印刷物やWWWで丁寧に説明し、更に workshop や tour を頻繁に実施することは、UCBに限らず、多くの大学図書館で行われています。

エル・ニーニョの影響で何十年に一度というほど降雨が多く、カリフォルニアの青い空ははずこ、という天候だったのは残念でしたが、様々なことを見聞できたことは、私にとって貴重な経験となりました。同時に、彼我の大学図書館の在り方の余りにも大きな違いを改めて実感し、考えさせられるところがありました。

末筆ながら、文部省をはじめとして、私の在外研究派遣につき、ご配慮・ご尽力を下さった全ての皆様に、心よりお礼を申し上げます。特に、私の不在の間、掛の業務を支えて下さった専門員と掛員の方には感謝の言葉もありません。

関連WEBサイト カリフォルニア大学バークレー校(UCB) : <http://www.berkeley.edu/>
UCB図書館 : <http://www.lib.berkeley.edu/>
バークレー市 : <http://www.ci.berkeley.ca.us/>



バークレー市街 — 中央手前がUCB、遠方中央がサンフランシスコ、遠方右に Golden Gate Bridge

(情報サービス課参考調査掛長 おおにし・なおき)

中国語図書の検索について

藤田 弘

本学の中国語図書の蔵書検索につきまして、WWW版OPACを中心に、簡単に説明します。
なお、1998年9月末現在、中国語図書は約1万タイトル、約2万冊が入力されています。

0. 検索上の一般的な注意事項

本学の蔵書検索の対象となる図書の検索語の長さは漢字、カナ共最大で15文字です。
また、検索時に、それ以上の文字を入力しても、16文字目以降は無視されて検索されます。
その他、前方一致検索の指定の際には「%」を文字の末尾にご使用下さい。例) 敦煌吐魯番%

1. 書名の検索

(1) 漢字による書名検索

- (a) 中国語の簡化字は、対応する日本の漢字（JIS第1水準又は第2水準）で検索します。
中国簡化字（簡体字とも言われます）では検索できません。

[理由] 中国簡化字は、対応する日本の漢字（JIS第1水準又は第2水準）に置き換えてデータが作成されています。例えば、「近代汉语研究」という書名の図書は「近代漢語研究」という書名でデータが作成されています。

[例1-1] 近代汉语研究 → 近代漢語研究で検索

Web-Opac 近代漢語研究 [全て▼] (又は、書名▼) [AND▼]

(検索結果)

近代漢語研究 / 胡竹安[ほか]編. - 北京 : 商務印書館, 1992.10. - ii, 351p ; 21cm
RM:Jin dai han yu yan jiu

- (b) 中国語の繁体字も、対応する日本の漢字（JIS第1水準又は第2水準）で検索します。
中国語の繁体字は、JIS第2水準に対応する場合がありますが、多くの場合、簡単な漢字であるJIS第1水準がVT:として入力されていますので、簡単な漢字でも検索可能です。
[例1-2] 中國文學簡史 → 中國文學簡史で検索(多くの場合、中国文学簡史でも検索可)

Web-Opac 中國文學簡史 [全て▼] (又は、書名▼) [AND▼]

Web-Opac 中国文学簡史 [全て▼] (又は、書名▼) [AND▼] (多くの場合検索可)

(検索結果)

中國文學簡史 / 林庚著. - 上海 : 上海文藝聯合出版社, 1954.9. - 386p ; 19cm. - (中國古典文學研究叢刊 ;)
VT:中国文学簡史

- (c) JIS第1水準、第2水準に対応する漢字がない場合には、日本語慣用音読み（ベタヨミ及び分かちヨミー全角片カナ&平かな）で検索します。その他、大漢和辞典（諸橋轍次著）等の漢字コードでも検索できます。書名そのものは、大漢和辞典等の漢字コードで入力されています。例えば、<鄧>の繁体字<鄧>はJIS第1水準、第2水準に対応する漢字がないので、大漢和辞典のコードで◆D39630◆と入力されています。

[例1-3] 鄧小平軍事思想研究

- (ベタヨミ) トウショウヘイグンジシソウケンキュウで検索
※ 但し、16文字目以後は無視されて検索されます。
→ (分かちヨミ) トウ/ショウヘイ/グンジ/シソウ/ケンキュウ
※ 一単語一行ずつ、別々に入力して、AND検索
→ (漢字コード) ◆D39630◆小平軍事思想研究で検索

Web-Opac (ベタヨミ検索) ※ 但し、16文字目以後は無視されて検索されます。

トウショウヘイグンジシソウケンキュウ [全て▼] (又は書名▼) [AND▼]

Web-Opac (分かちヨミ検索) ※ 一単語一行ずつ、別々に入力して、AND検索。

トウ	[全て▼]	(又は、キーワード▼)	[AND▼]
ショウヘイ	[全て▼]	(又は、キーワード▼)	[AND▼]
グンジ	[全て▼]	(又は、キーワード▼)	[AND▼]
シソウ	[全て▼]	(又は、キーワード▼)	[AND▼]

ケンキュウ [全て▼] (又は、キーワード▼) [AND▼]

Web-Opac (漢字コード検索)

◆D39630◆小平軍事思想研究 [全て▼] (又は書名▼) [AND▼]

(検索結果)

◆D39630◆小平軍事思想研究 / 劉先廷主編. - 瀋陽 : 遼寧人民出版社, 1992. - 421p ; 21cm.

(注) 大漢和辞典等の漢字コードでの検索について

J I S 第1、第2水準に対応しない漢字は、主に大漢和辞典で書名データが作成されていますが、そのほか、広漢和辞典、新字源(現在不使用)も若干使用されています。従って、大漢和辞典のコードのみの検索の場合、検索もれが生じる場合がありますのでご注意下さい。大漢和辞典の場合は

◆D.....◆、広漢和辞典の場合は◆K.....◆、新字源の場合は◆S.....◆で検索可能です。

(2) ヨミによる書名検索

ヨミは、日本語慣用音読み(ベタヨミ及び分かちヨミ-全角平カナ&平かな)で検索します。ピンインでも検索できる場合がありますが、ピンインが入力されているデータは少なく、検索漏れを起こします。なお、分かち書きについて、詳しくは学術情報センターの下記の規則をご覧ください。これに準拠しております。(http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/MAN/kijun/kijun3.11.3.html#11.3.3)

[例1-4] 中国文学簡史 → (ベタヨミ) チュウゴクブンガクカンシで検索

→ (分かちヨミ) チュウゴク/ブンガク/カンシ

※ 一単語一行ずつ、別々に入力して、AND検索

Web-Opac (ベタヨミ検索)

チュウゴクブンガクカンシ [全て▼] (又は、書名▼) [AND▼]

Web-Opac (分かちヨミ検索)

※ 一単語一行ずつ、別々に入力して、AND検索

チュウゴク [全て▼] (又は、キーワード▼) [AND▼]

ブンガク [全て▼] (又は、キーワード▼) [AND▼]

カンシ [全て▼] (又は、キーワード▼) [AND▼]

(検索結果)

中国文学簡史 / 林庚著. - 上海 : 上海文藝聯合出版社, 1954.9. - 386p ; 19cm. - (中国古典文学研究叢刊 ;)

VT:中国文学簡史

2. 著者名の検索

著者名検索の重要な注意事項:

個人名の検索の場合、漢字・カナ検索共に、ノイズを避けるため、一度に姓名を検索されることをお勧めしますが、その場合には、姓△名(△:スペース)で検索して下さい。

(1) 漢字による著者名検索

(a) 中国語の簡化字は、対応する日本の漢字(J I S 第1水準又は第2水準)で検索します。

なお、対応する日本の漢字(J I S 第1水準又は第2水準)に、新字、旧字がある場合には

[(例)国と國等]、検索漏れ防止のため、両方で検索して下さい。以下、新字と旧字の一例です。

[亜/亞][榮/榮][応/應];[会/會][学/學][関/關][経/經][県/縣][国/國];[処/處][図/圖]等。

中国簡化字(簡体字とも言われます)では検索できません。

[理由] 書名同様に、中国簡化字は、対応する日本の漢字(J I S 第1水準又は第2水準)に置き換えてデータが作成されています。例えば、「凌風桐」という著者名は、「凌鳳桐」という著者名でデータが作成されています。

[例2-1] 凌風桐 → 凌△鳳桐で検索 (△:スペース)

Web-Opac 凌△鳳桐 [全て▼] (又は、著者名▼) [AND▼] (△:スペース)

(検索結果)

中日歴史大事年表 / 凌鳳桐[ほか]編著. - 哈爾濱 : 黒龍江教育出版社, 1988.12. - 1141p ; 21cm

(b) 中国語の繁体字も、対応する日本の漢字(J I S 第1水準又は第2水準)で検索します。

上記(a)同様、対応する日本の漢字(J I S 第1水準又は第2水準)に、新字、旧字がある場合には

[(例)国と國等]、検索漏れ防止のため、両方で検索して下さい。以下、新字と旧字の一例です。

[亜/亞][榮/榮][応/應];[会/會][学/學][関/關][経/經][県/縣][国/國];[処/處][図/圖]等。

[例2-2] 吳禮權 → 吳△禮權で検索 (△:スペース)

Web-Opac 呉△禮權 [全て▼] (又は、著者名▼) [AND▼] (△:スペース)

(検索結果)

中国語言哲学史 / 呉禮權著. - 臺北 : 臺灣商務印書館, 1997. - 4, 365p ; 21cm
VT:中国語言哲学史

- (c) J I S 第 1 水準、第 2 水準に対応する漢字がない場合には、日本語慣用音読み(ベタヨミ及び分かちヨミ-全角片カナ&平かな)で検索します。その他、大漢和辞典(諸橋轍次著)等の漢字コードでも検索できます。著者名そのものは、大漢和辞典等の漢字コードで入力されています。例えば、<鄧>は J I S 第 1 水準、第 2 水準に対応する漢字がないので、大漢和辞典のコードで◆D39630◆と入力されています。

[例 2-3] 鄧安生(トウ アンセイ)

→(ベタヨミ) トウ△アンセイで検索 (△:スペース)

→(分かちヨミ) トウ/アンセイ

※ 一単語一行ずつ、別々に入力して、AND 検索

→(漢字コード) ◆D39630◆△安生で検索 (△:スペース)

Web-Opac (ベタヨミ検索)

トウ△アンセイ [全て▼] (又は、著者名▼) [AND▼] (△:スペース)

Web-Opac (分かちヨミ検索) ※ 一単語一行ずつ、別々に入力して、AND 検索

トウ [著者名▼] [AND▼]

アンセイ [著者名▼] [AND▼]

Web-Opac (漢字コード検索)

◆D39630◆△安生 [全て▼] (又は、著者名▼) [AND▼] (△:スペース)

(検索結果) ベタヨミ検索と分かちヨミ検索は下記の 1 番と 2 番ヒット。(1 番は別人)

漢字コード検索は下記のみヒット。

1. 民事法律行為 : 合同、遺囑和婚姻行為的一般規律 / 董安生著. - 北京 : 中国人民大学出版社, 1994.6. - II, 5, 3, 298p ; 20cm. - (中国人民大学博士文庫 / 羅国傑主編 ;)
2. 陶淵明新探 / ◆D39630◆安生著. - 臺北 : 文津出版社, 1995.7. - 4, 262p ; 21cm. (文史哲大系 ; 88)

(注) 大漢和辞典等の漢字コードでの検索については書名の検索の 1(1)(c)の注をご覧ください。

(2) ヨミによる著者名検索

ヨミは、日本語慣用音読み(ベタヨミ及び分かちヨミ-全角片カナ&平かな)で検索します。団体名のベタヨミ検索はスペース無しですが、個人名のベタヨミの場合には、姓△名(△:スペース)で検索して下さい。なお、ピンインでは検索できません。

[例 2-1] 凌鳳桐 →(ベタヨミ) リョウ△ホウトウで検索 (△:スペース)

(分かちヨミ) リョウ/ホウトウ

※ 一単語一行ずつ、別々に入力して、AND 検索

Web-Opac (ベタヨミ検索)

リョウ△ホウトウ [全て▼] (又は、著者名▼) [AND▼] (△:スペース)

Web-Opac (分かちヨミ検索) ※ 一単語一行ずつ、別々に入力して、AND 検索

リョウ [著者名▼] [AND▼]

ホウトウ [著者名▼] [AND▼]

(検索結果)

中日歴史大事年表 / 凌鳳桐[ほか]編著. - 哈爾濱 : 黒龍江教育出版社, 1988.12. - 1141p ; 21cm

※参考までに:

- (1) [全て]=[書名]+[著者名]+[キーワード]+[出版者]([件名]を除く)。

[書名]=書名(シリーズ名,その他の書名,内容著作注記の書名を含む)の漢字形とベタヨミ形。

[著者名]=著者名(漢字形+ベタヨミ形+分かちヨミ形) [注]個人名の漢字形(1.姓△名 2.姓 3.名);
ベタヨミ形(姓△名のヨミ); 分かちヨミ形(1.姓のヨミ 2.名のヨミ) (△:スペース)

[キーワード]=[書名]の対象部分の分かちヨミ形+[本]書名の漢字形(シリーズ名等は除く)。

- (2) 日本語の新漢字・旧漢字入力参考資料等: コード入力→『コンサイス漢字ワープロ辞典(三省堂)』等。

手書き入力→ Windows95MS-IME97等の手書き入力モードの異体字挿入。

ふじた ひろし(情報管理課和書目録情報掛長)

■■■■■ 教官著作寄贈図書 (1998/July-Sept.) ■■■■■

本館	
沢井 実 (経済学部、教授)	日本鉄道車輛工業史 / 沢井実 東京：日本経済評論社, 1998
生命科学分館	
佐藤 良夫 (歯学部、技官)	図解・実験動物技術集Ⅱ / 日本実験動物技術者協会図解・実験動物技術集Ⅱ 編集委員会編. -- 増訂再版. 東京：アドスリー, 1998
早川 和生 (医学部、教授)	ふたごの心理学 / ハーバート・L・コリエ著；早川和生監修 東京：ビネバル出版, 1998
谷口 直之 (医学部、教授)	呼吸器疾患の分子生物学 / 川上義和, 谷口直之, 木田厚瑞編集 東京：医学書院, 1998
加藤 四郎 (名誉教授)	ジェンナーの贈り物：天然痘から人類を守った人 / 加藤四郎著 東京：菜根出版, 1997 がんと免疫 / 西宮ライフサイエンスセミナー研究委員会編 東京：菜根出版, 1996 (生命科学講座Ⅳ) 病原ウイルス学 / 加藤四郎, 岸田綱太郎編集. -- 改訂2版 京都：金芳堂, 1997 (以上3冊、微生物病研究所にも寄贈)
吹田分館	
江尻 宏泰 (核物理研究センター、 教授)	クォーク・レプトン核の世界：物質の究極 / 江尻宏泰著 東京：裳華房, 1998
山根 壽巳 (名誉教授)	High pressure science & technology : proceedings of the joint XV AIRAPT & XXXIII EHPRG International Conference Warsaw, Poland. September 11-15, 1995 / organized by High Pressure Research Center (UNIPRESS) ... Singapore : World Scientific, 1996
薬学部図書室	
馬場 明道 (薬学部、教授)	Taurine 2 : Basic and clinical aspects / ed. by Akemichi Baba et al. (Advances in experimental medicine and biology ; v. 403) New York : Plenum, 1996

■■■■■ お知らせ ■■■■■

○遡及入力の実況 (本館開架図書入力終了)

附属図書館ではこの5年間、図書書誌データの遡及入力を進めてきましたが、このたび、本館閲覧室内の図書について、入力がほぼ終了し、OPACで検索できるようになりました。

98年9月末で、開架図書、文庫・新書コーナー、同和図書コーナー、大型本コーナーについては終了、1・2階の参考図書も、書誌・目録類など一部を除いて終了しています。

また、分館・分室においても、遡及入力作業が進んでいます。遡及入力を必要とする図書は、まだ約90万冊ほど残っています。図書館では

現在、集中的な遡及入力計画の推進をはかっているところです。

○電子ジャーナルのタイトルが増えています

大阪大学内から利用できる電子ジャーナルは、昨年までにPhysical Review Lettersなど約30誌が利用可能となっていました。今年になってさらにタイトルが増えています。

98年9月末現在で利用できる主要なタイトルは、以下のとおりです。(発行者別)

・ American Institute of Physics (AIP)

Physical Review Lettersなど、13タイトル。

- American Physical Society (APS)
Physical Review A~Eなど、6タイトル。
- EDP Sciences
今年に入って利用できるようになったヨーロッパの物理系出版社。European Physical Journalなど、7タイトル。
- Institute of Physics (IOP)
Journal of Physics Aなど、物理、工学、医学・生物系の16タイトル。
- Psychology Press
今年に入って利用できるようになった、心理学系の出版社。Applied Psychologyなど5タイトル。
- Springer Verlag -Springer LINK-
今年に入って利用できるようになったサービスで、世界の代表的な学術出版社の一つであるSpringer社の電子ジャーナルの内、大阪大学で購入しているタイトルの全文が閲覧できます。
98年9月末で、134タイトルが利用可能。

この他、American Mathematical Society (AMS)、等の電子ジャーナルも提供しています。

詳細及び各電子ジャーナルのアドレスについては、図書館WWWサイトの「電子ジャーナルのページ」を参照してください。

<http://www.library.osaka-u.ac.jp/others/zassi-1.htm>

○WWW版図書館報総目次Vol.1~を公開

図書館WWWサイトの「図書館報のページ」では、これまでVol.15以後の総目次を公開していましたが、このたびVol.1からの全目次を公開し、WWW上で図書館報の創刊（昭和42年）以来の各号の内容を一覧することができるようになりました。

総目次のアドレスは次のとおりです。

<http://www.library.osaka-u.ac.jp/kanpo/somoku.htm>

○基礎工学部図書室で土曜日のサービス拡大

基礎工学部図書室では、9月から土曜日の時間外開室のサービス内容を拡大しました。

今までの閲覧・校費の文献複写サービスに加え、下記業務が追加されています。

- OPACの利用
- 図書・雑誌の貸出・返却

■■■■ 会 議 ■■■■

生命科学分館運営委員会

6. 19 (金) 10:00~11:35

1. 平成11年度生命科学分担金購入雑誌について、種々審議の結果アンケートの集計結果を再調整して次回運営委員会に提出する事が了承された。

分館長会議

7. 8 (水) 13:00~14:48

1. 図書館委員会の議題整理を行った。
2. 平成10年度事業費及び運営費の予算配分について審議し、原案どおり承認され、図書館委員会に諮ることとなった。
3. 本館新築計画について、図書館委員会で審議するための配布資料の検討を行った。
4. 図書目録の遡及入力について、本年1月の図書館委員会で審議した計画の変更案の検討を行い、原案どおり承認し、図書館委員会に諮ることになった。

図書館委員会

7. 14 (火) 10:02~12:25

1. 平成10年度事業費及び運営費の予算配分について審議し、原案どおり承認された。
2. 本館新築計画について審議し、新築の基本的な構想及び建設位置並びに各フロアの配置について原案どおり承認された。
3. 図書目録の遡及入力について、本年1月の本委員会で承認した計画の変更を審議し、原案どおり承認された。
4. 電子情報サービス検討委員会委員の欠員補充について、選出依頼があった。

生命科学分館運営委員会

7. 22 (水) 10:00~11:00

1. 平成11年度生命科学分担金購入雑誌について、種々審議の結果原案通り了承されたが、今後のレート変動によっては、9月に再度運営委員会を開催する必要がある事が了承された。
2. 平成10年度製本費の関連部局配分につき、原案どおり了承された。
3. 8月の夜間開館については、例年どおり19時まで短縮することが了承された。

吹田地区運営委員会

7. 29 (水) 10:30~13:00

1. 平成10年度学生用図書購入費等執行計画について、審議の結果、原案どおり承認された。
2. 資料選定小委員会内規について、大学院重点化による組織変更に伴う内規改正案が審議され、承認された。
3. コンテンツシートサービスについて、オンライン検索により相当量カバーできることから、平成10年限りでサービスを廃止することが、了承された。
4. Landolt-Bornstein について、原価の値上りが大きく今後継続購入をしていくかどうかを検討することになった。
5. CA冊子体の購入について、吹田地区での共同購入のための調整を行うことになった。

分館長会議

8. 7 (金) 10:05~13:05

1. 本館新築計画について、前回の会議以後の変更点の説明と意見交換があり、附属図書館本館新築計画検討ワーキンググループに進捗状況を連絡することになった。
2. 財源拡大案について検討し、継続審議となった。
3. 教官組織「研究開発室(仮称)」の議論の進め方について検討し、継続審議となった。
4. 電子図書館化検討ワーキンググループの設置について検討し、継続審議となった。

■■■■■ 日 誌 ■■■■■

- | | | |
|-----------|--------------------------|-----------------|
| H10. 6. 9 | 本館新築計画事務部ワーキンググループ | (本館) |
| 6.11 | 外国雑誌センター館会議 | (東京大学) |
| 6.12 | 第67回近畿地区国公立大学図書館協議会総会 | (奈良先端科学技術大学院大学) |
| 6.16 | 本館新築計画検討ワーキンググループ(第5回) | (本館) |
| 6.19 | 生命科学分館運営委員会 | (生命科学分館) |
| 6.24~25 | 第45回国立大学図書館協議会総会 | (鹿児島大学) |
| 6.30 | 本館新築計画事務部ワーキンググループ | (本館) |
| 7. 3 | 第72回近畿地区医学図書館協議会例会 | (兵庫医科大学) |
| 7. 8 | 本館新築計画検討ワーキンググループ(第6回) | (本館) |
| | 分館長会議 | (本館) |
| 7. 9 | 第1回総合目録小委員会 | (学術情報センター) |
| 7.14 | 図書館委員会 | (本館) |
| 7.22 | 生命科学分館運営委員会 | (生命科学分館) |
| 7.29 | 吹田地区運営委員会 | (吹田分館) |
| 8. 5~ 7 | 第5回医学図書館員基礎研修会 | (滋賀医科大学) |
| 8. 7 | 分館長会議 | (本館) |
| 8.21 | NACSIS-IR 講習会 | (学術情報センター) |
| 8.24~25 | ILLシステム地域講習会 | (本館) |
| 8.25 | 平成10年度第1回図書館電子化システム特別委員会 | (京都大学) |
| 8.26~28 | 目録システム地域講習会 | (本館) |
| | 図書館等職員著作権実務講習会 | (京都大学) |
| 8.31 | 本館新築計画事務部ワーキンググループ | (本館) |